

## 令和3年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(三保地区)

開催日時	令和3年10月11日(月)午後6時から午後8時10分
場 所	三保支所2階
町民参加者	28人(40代以下4人、50代5人、60代以上19人)
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、参事兼都市整備課長兼新東名対策室長、総務防災課長、保険健康課長、定住対策課長、農林課長、環境課長、商工観光課長、事務局3人

### 出席者からの主な意見や提案

#### 《テーマ：河川の利用について、規制等を設けることは可能か》

- 河川の利用については、数年前より問題となっている。地元としては河原でお弁当を食べたり、遊んだりという通常利用は問題ないが、年々ごみや排泄の問題が深刻化してきている。中には駐車場がないため路上駐車をする人もおり地元では大変迷惑しているが、このことについては新たに会議体が立ち上がり、少し状況が好転してきていると聞いている。しかしながら、河川の利用については進展が見られない状況で、過去には林野火災や玄倉の事故等も起きており、とても苦慮している。事業所等のある地区では見回りやごみ拾いもしているが、エリアも広くとてもすべてのエリアはカバーできない。せめて無人のエリアだけでも規制を設ける等、少しでも前進するよう、前向きな議論をお願いしたい。
- 河川のごみの写真を地域の方からも提供していただきながら毎年チェックしている。若い世代にはSNSによる啓発が効果的だと思う。例えば、マスコットキャラクターを活用した啓発も効果的なのではないか。また、こういった視点を取り入れる為にも、若い人や地元の意見を聞く機会をもっと増やしてほしい。また、キャンプや登山者向けに西丹沢へ登山バスを走らせて欲しい。その他、河川での遊び方に関する周知ができていない。過去に事故も起きているということを重く受け止めて検討してもらいたい。河川で遊ぶことはいいことだと思うし、山北はその環境では素晴らしいところだと思う。山北らしさを生かして、もっと遊び方を紹介していったらどうか。
- 玄倉寺付近の道が駐車禁止エリアになっていないようなので、駐車禁止にして欲しい。ごみがそんなに多くないというが、丹沢湖の下流側、清水地区にかなり捨てられているので、限定的な場所だけで考えないでほしい。また、駐車場については有料では駐車しないというが、最近はそのようなことはないと思う。今後スマートインターチェンジが開通すると、このごみ問題はさらに他地区にも影響が広まると思うので、早めに対応してほしい。

○キャンプ場が駐車場の貸出しをやめたのは、早朝に来る登山者が勝手に車を停めて、お金を払わずに帰ってしまうということが続いたからだと聞いている。役場の職員は、きちんとヒアリングをして、実情を把握してもらいたい。自然に対して、お金を払うということをさらに浸透させて、町として遊べる場所等の情報発信をして、きちんと案内していくことで、駐車場もごみの問題も解決に繋がっていくのではないかと。

○玄倉地区には、有料駐車場はない。地区で管理している駐車場もあるが、夜間に騒いだりする利用者もいて近隣の方に迷惑となっており、閉鎖してくれとの要望も出ている。しかし、そうすると車が道路にあふれてしまうことになるので、簡単に閉鎖することもできない。注意することもできず、どうしようもない状況で、毎年町と協議しながら対応に苦慮している。また、山北町は遊ぶところが少ない。商売になっていないので、遊ぶ場所を作り、有料駐車場でもいいので、お金が入ってくるような仕組みを検討していただきたい。

○河原の利用については、丹沢湖連絡協議会でも議題として話をしていたところである。先日、バーベキュー禁止条例を制定した自治体があると聞いた。新しいことをするには情熱が必要である。例えば西丹沢ビジターセンター周辺はバーベキューが禁止となっており、禁止だというモラルは長い時間を掛けて浸透してきたはずである。禁止看板を設置したら何かの法に触れるのか。町が考える三保地区のあり方は、コロナ禍で人が増えごみが増え、その処理に町がお金を費やしていくのではなく、お金を落としてもらう仕組みにならないのか、疑問に思っている。ユースの時もそうだったが、人が来て町が苦しむのではなく、収益に繋げていくとことができなければ意味がない。モラルや利用の仕方の周知という観点からも、地域を守っていく為の手法として、条例は必要ではないかと思っている。また、水を利用している横浜方面の方々にも、水源地の状況を知ってもらう取組みは必要ではないか。

○先ほどからSNSの話が出ているが、町の公式ツイッターについて役場職員はどの程度関心を持っているか。当初投稿された内容は「川崎競馬の収益は山北町の収益にもなります」というようなものばかりであり、公式 Twitter にも関わらず素人が思いついたような内容で非常にかっかりした。最近はコロナ禍で良いと思えるような投稿も出てきているので、SNSの発信力を認めているのであれば、ぜひ有効に活用してもらいたい。有料ごみ袋の考えはとても良く需要もあると思うので、ぜひSNSでも発信しながら取り組んでほしい。

○水源の里事業を県で行っていると思うが、水源税をもっと活用できないのか。町に積極的に要求してもらいたい。

《テーマ：人口減少対策について、町はどのように考えているか》

○空き家・空き地が増えてきている。人口減少が進み独居老人が増えてきてどのように見

守っていくか等、様々な苦勞が強いられてくる。町では定住対策の組織があるが、どのような状況か。また、空き家の整理ができておらず利用できない物件が増えてきていると聞くがどうか。

○三保地区では、転入者が新築する場合、公園法の非常に厳しい規制があるが、この規制の緩和できないのか。

#### 《テーマ：その他》

○デマンドタクシーの試行運行実施の経緯を知りたい。試行運行までにブランクがあり、地元からの要望もあり、再度試行運行に至ったということだが、町のリサーチの仕方などももう少し違う形が生まれてもいいのではないか。また、デマンドタクシーは、高校生は利用できないのか。路線バスでは御殿場線との接続も悪く、家の者で送迎しているが、行けないこともある。

○三保地区の老人会は役員のみ手不足等によりなくなってしまったが、老人会がなくても輪投げ大会等には出られるようにならないか。例えば、若い人が代わりに役員となって運営していくことも可能か。

○中川温泉の一角に、10年以上前に廃業した旅館の建物があるが、建物も老朽化しており、倒壊の危険性も懸念している。所有者に管理のお願いもしているがなかなか改善も見受けられず、奥には人も住んでおり入口を塞ぐことはできない。旅館組合としての対応は難しくなっているため、役場の知恵と力を貸していただきたい。

○ハイツ&ヴィラなかがわの撤退から15年、町が取得してから13年程になるかと思う。新東名の工事が終わり、撤退した後はどうしていくつもりか。今までも問題提起してきたが、特に進展がないように感じており、どのように考えているか。

○河川利用の対策として、ハイツ&ヴィラなかがわの跡地でバーベキュー等ができるようにすることも一つの解決策になるのではないか。

○現在、新東名高速道路の工事業者が立派な浄化槽を作ったので、撤退の際にはぜひ町で引き継いで、残してもらいたい。せっかく作ったのに撤去しまってはもったいない。